

米沢信用金庫の環境への取組みについて

【地域との連帯を図りながら】

当金庫では、地域と企業、県の3者が協定を結び、森づくりに取り組むことで地域活性化を目指す県の「やまがた絆の森」協定を平成22年3月25日に締結しました。山形銀行と森林の所有者である米沢市と協力して、より良い環境を目指し、また、森づくりから二酸化炭素の吸収源対策を推進するとともに、地域交流の促進による里山の活性化を主旨に「ぐるっと花笠の森」と称し、活動を開始し今年3月に2期8年目を向えました。

1. 活動計画

(1) 活動の目標

- ・ CSR活動は地域金融機関として当然の責務であり、森づくり活動を通じて地域の活性化及び温暖化防止に寄与する森林の育成に取り組むことで、より多角的な地域貢献を図っていきます。
- ・ 森林の所有者である米沢市の協力のもとに各方面でのネットワーク化に取り組むことで、地域経済の活性化を図ります。また、森づくりや地域との交流などを通じて、参加した職員や子供たちのマインド育成を図ります。

(2) 活動地

米沢支万世調八幡原緑地稲荷山

(3) 活動計画・内容

里山への植樹・下刈りなどの保育を通じた森林保全活動

2. 実施内容

第1期において植林活動は一段落した。今年度は9月23日に、通算12回目の活動となる、下刈りと雑木の伐採を行った。

・参加人数 84名

(当金庫職員36名 職員家族3名 山形銀行職員36名 県・市関係者9名)

活動後、近くのコミュニティーセンターに場所を移し、木工クラフト行い、終了後はいも煮会で楽しいひと時を過ごしました。

3. 平成28年度の実績

山形県CO₂ 森林吸収量認定書（森林整備を行った森林がCO₂ を吸収し、地球温暖化の防止に貢献したことの認証）を平成29年6月3日に県知事より受ける

CO₂ 森林吸収量 0.71 t-CO₂/年

